

## 徳島県の駅駐輪場の放置自転車について

私たちは、普段利用することのある駅駐輪場をより快適に利用できる駐輪場にすることを目的に現在の放置自転車数を計測して、どのくらい駐輪場を圧迫しているかを調べることにした。春休み、夏休みに計測を行ってみたが、うまくいかなかった。そこで、その反省点を基に11月に最終計測を行い、その結果を基に対策を組んでいくために、駅駐輪場における現在の放置自転車の撤去方法と異なる新たな撤去方法を考案した。

### 1. 背景

私たち高校生は、駅周辺の駐輪場を利用する機会が多々ある。その時に駐輪場の自転車の置き方、おそらくもう使われていないであろう自転車を見かけることも多い。それらをなくすことができれば、たとえば倒れたままになっている放置自転車が占領しているスペースや市が調査した放置自転車が固められた区画にも自転車が置けるようになり、通路にはみ出ている自転車が枠内におくことができるようになる。そうすることでより多くの駐輪場のスペースを確保でき、駐輪しやすくなり、より多くの人々が快適に駐輪場を利用できるはずである。これらのことから、今回JR四国佐古駅でそれらの処理法を模索し、駅の駐輪場を快適化していきたいと考えた。

私たちが質問したところ現在は、徳島市役所都市建設政策課が1ヶ月に1回調査し、管理者の主観で放置されていると思われる自転車に要請文を張り付ける。そして次月、要請文がそのまま張り付けられてある自転車に警告文を張り付け、そのまた次月に警告文がそのままであった自転車を撤去するという方法を行っている。結果として、1ヶ月に5台ほどの放置自転車が回収されているようだが、その方法では撤去が追いついていないように感じた。そのため、以下の測定を行った。

### 2. 方法と結果

**春休み、夏休みにも測定を行ったが、その二回は失敗してしまったため、失敗した要因を修正して11月に本調査を行った。**

#### →失敗した理由

・夜は暗く、とった写真の判別がうまくできなかった。

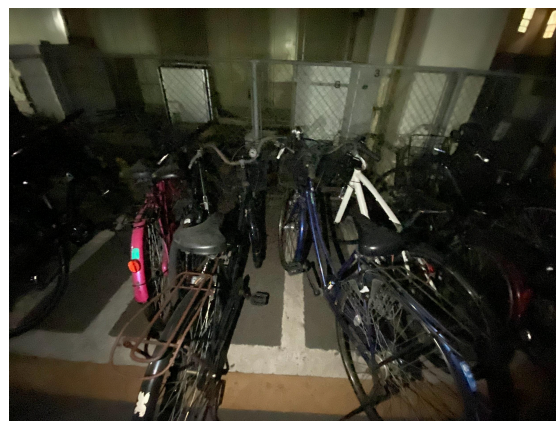


図2 4月3日に佐古駅で撮影したが、判別が困難であると判断した例である。

・駅の駐輪場の全てを撮影しようとしたが広すぎて、うまく撮影ができなかった。

・1日目しか総自転車数を数えていなかったため、2日目、3日目もそれぞれそれらを数えるべきだと思った。

・また、撮影したのは昼のみだったので、昼夜交えて撮影すべきと感じた。

○JR四国佐古駅(11月の測定)

・日時

11月9日、11月18日、11月25日

・場所

JR四国佐古駅高架下駐輪場

本来想定されている駐輪台数、自転車の総数、放置自転車数をそれぞれセクションごとに分けて(表1)、またその奇数番号のみ調べた。(入り口付近に自転車が多いので、分布の偏りをなくすため。)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
39	18	17	16	15	14	13	12	11	10	37
40	27	26	25	24	23	22	21	20	19	38
	36	35	34	33	32	31	30	29	28	



図3 佐古駅高架下駐輪場

・使用したもの

スマホの写真アプリ

・方法

11月9日、18日、25日に分けて佐古駅へ行き、写真を撮影し、その写真を異なった日ごとに比べ、全ての写真に共通して写っている自転車を探し出した。

表1 佐古駅駐輪場縮図である

昼と夜を交えて撮影した。そのため、夜の撮影ではスマホのライトで照らし明るくして調べた。

11月25日の結果は次の表2のようになった。

セクション	設置可能な台数	自転車総数	放置自転車数
1	5	13	4
3	12	17	3
5	11	13	2
7	12	10	2
9	10	11	3
11	13	20	7
13	13	15	3
15	9	12	0
17	8	9	3
19	6	8	0
21	12	16	2
23	13	11	2

25	12	13	2
27	7	7	1
29	10	19	2
31	11	14	4
33	8	8	2
35	11	14	3
37	9	12	3
39	5	5	0
総数	197	247	48

(表2)11月25日の結果である

※放置自転車数とは、11月9日、18日、25日に撮影した写真の全てに共通して写る自転車の数である。

自転車総数のうち、放置自転車数の割合は19%。つまり、自転車の約5台に1台が放置自転車という結果となった。

また、想定されている駐輪台数と自転車総数を比べると、247台中の50台の、約20%の自転車が通路や、駐輪場に詰めて入れたりなど、本来想定されていない場所に置かれていることがわかった。

↓放置自転車の例（赤丸で示している）

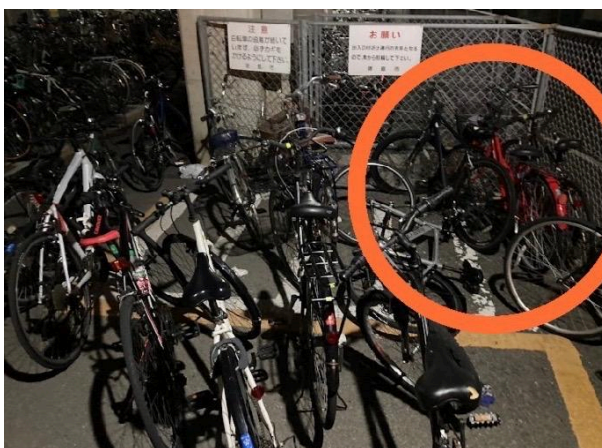


図4 11月9日(夜)の佐古駅(表1で表したセクション1)で撮影した写真である。



図5 11月18日(昼)の佐古駅(表1で表したセクション1)で撮影した写真である。



図6 11月25日(昼)の佐古駅(表1で表したセクション1)撮影した写真である。

また、このように放置されている自転車の状態は、三日間を通してほとんど変化していなかった

### 3.考察・提言

これらのことから、もし駐輪場に放置自転車が無ければ、ほとんどの自転車が規定された位置に駐輪されるようになると思われる。

そのために、只今徳島市都市建設政策課が行っている放置自転車の管理について、管理体制を少し見直す必要があると提言する。現在行われている方法では放置されてある自転車の判断が主観的である。そのため、例えば、3ヶ月に1回全ての自転車にラベルを貼り、次月にラベルが貼られたままの状態であったものを撤去する。そうすれば、「放置しているであろう自転車に要請文を貼る」という主観的判断が確証のあるものになり、よ

り放置自転車との区別がつきやすくなるのではないか。

また、一次提言で、卒業する学生が使用していた自転車を持ち帰って捨てずに、そのまま駅に放置してしまうことが一つの要因になっているのではないか、というお言葉を頂いた。そこで、県内の大学、高校で卒業する学年の生徒に対して駅に駐輪している自転車をきちんと家にもちかえて処理する呼びかけ、手紙の配布などを行うことも一つの対処法であると思う。

放置自転車の減少、つまり駐輪場の使いやすさは、その駅の使いやすさ、快適さにも繋がるため、今一度意識すべきだ。

また、以上を徳島県知事に提言を行った。そして、知事から「皆さんの提言に対し、必ず何らかの返答をしたい」というお言葉を頂いた。私たちの提言が、徳島県の駅駐輪場の快適化に繋がって欲しい。

#### 4. 参考文献

(図3)

徳島新聞デジタル

<https://www.topics.or.jp/articles/-/656273>